


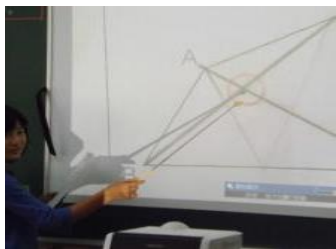
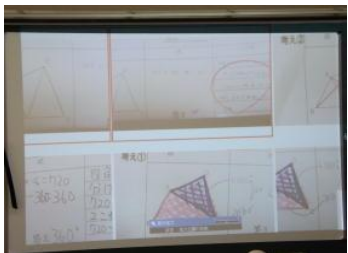
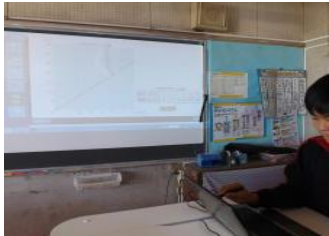
ICTを活用した効果的指導法の工夫（算数科を中心に）

【蓮田市教育委員会】

1 はじめに

今年度の8月、蓮田市ではパソコンが一新され、全てノートパソコンになった。無線LANで結ばれ、各教室にパソコンを移動させたり、同教室内でも指導者がパソコンを持って移動しながら授業を進めたりできるようになった。また、2クラスに1セットではあるが、タブレット型パソコン、プロジェクター、スクリーンが導入された。全職員、情報教育機器研修を重ね、基本的な操作ができるようになるとともに、授業で活用する度に、新しい活用法や工夫が広がっている。視覚的に児童に学習内容を提示したり、グラフや図形を書く時間を削減させ、児童への指導時間を多く確保したりする等、ICTの活用によっての学力向上が大いに期待される。ここでは、本校職員がどのようにICTを活用し、効果的な指導をしているのかを紹介していきたい。

2 ICTを活用した事例

	<p>4年算数「整理のしかた」</p> <ul style="list-style-type: none">・本体から外して移動できるタブレット型を利用し、個別指導に当たる。・カラーペン機能を使って画像の中に数字を書き込んだり、「正」の字で数える方法を学んだりする。消去、書き直しもすぐできるため、繰り返し指導できる。
	<p>5年算数「図形の角」</p> <ul style="list-style-type: none">・画像をプロジェクターで拡大掲示し、発表しやすいようにする。・電子黒板機能を使用することにより、その映し出された画像に文字や赤線を書き込みながら発表することができる。・分度器やコンパスの画像も出るため、使い方、測定の仕方も提示しながら学習を進められる。
	<p>5年算数「図形の角」</p> <ul style="list-style-type: none">・カメラ機能を使って、児童のノートを保存する。・児童のノートをプロジェクターで映し出し、比較し、深め合う活動で使用する。・投影できる枚数や位置が自由に決められるので、児童の発表に合わせて移動しながら比較できる。
	<p>6年算数「比例と反比例」</p> <ul style="list-style-type: none">・6年生ともなると、児童自らパソコンを使って発表することができる。・カラーペン機能の中の「点」「線」「直線」を上手く使い分け、比例や反比例のグラフを簡単に書くことができる。

3 成果と課題

- 動画や自分の作品を拡大提示することで、興味を持って意欲的に学習に取り組むことができる。
- 保存も可能で次時の授業や違うクラスの授業にも活用できる。
- 活用の場面が算数以外にも理科や社会科の学習にも広がってきた。
- △プロジェクターの映し出された画像の前で発表すると、影になってしまうので立ち位置を工夫する必要がある。
- △算数ソフトやインターネット上の練習問題等を更に活用し、基礎基本の定着を図っていく。